

③ 分母の有理化

√の世界では、分母に√があったら×です。
 (決まっているルール)

↓

分母に√があれば
 「2乗と√は打ち消し合う」を利用して
 外しましょう。

仕方なく合わせるために
 分子にも ×√3 をしなければいけない

(1) $\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$

×√3 をして
 分母を2乗にする

$\frac{\sqrt{2} \times \sqrt{3}}{\sqrt{3} \times \sqrt{3}}$

いつもやってる
 通分
 みたいなもの

= $\frac{\sqrt{6}}{\sqrt{3}^2}$

= $\frac{\sqrt{6}}{3}$

分母を2乗にして√を
 消したいため。

上(分子)にも同じ数を
 かけたらなあかんってこと。

(2) $\frac{2}{\sqrt{2}}$

×√2
 ×√2

= $\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{2}^2}$

とにかく分母の√のまま
 置いてたらA×Aです。

= $\frac{2\sqrt{2}}{2}$

普通の数字
 同士なら約分できる

= $\sqrt{2}$